

冬休みまで残り少なくなりました。冬休みの計画は立てられていますか。冬休みは、受検（受験）に向けて学習の最終点検をする良い機会です。時間を有効に使いましょう。

入試の過去問題など、実践的な問題を解いてみる。できなかった問題や間違えた問題を解き直して、できる問題を増やしていくことが自信へとつながります。



この時期は焦る気持ちが出てくる人もいるかもしれませんが、焦りは禁物です。焦るとできることもできなくなり、自信がもてなくなり、不安な気持ちだけがどんどん大きくなっていきます。普段と同じ生活を心がけ、平常心を保つことが大切です。また、体調が悪いときは無理をしないこと。勉強は夜の方がはかどる人もいるかもしれませんが、試験が行われるのは朝からです。生活のペースが夜型にならないように、学校がある日と同じ時間帯で勉強に取り組むのも良いですね。

公立高校を受検する人は、志望校は決まっていますか。1月に入ってから慌てることのないように家族ともよく相談して自分の気持ちを決めておきましょう。面談で配布された「公立学校受検文書作成依頼書」（黄色）の提出がまだの人は忘れずに。志望校を悩んでいて24日までに提出できない人は、1月10日（金）までには必ず提出してください。

さて、私立高校について、三者面談で皆さんから提出してもらった「私立学校受験 手続き依頼書」（緑色）をもとに中学校と高校の間で進路相談を行いました。その結果は、本日担任の先生より伝えられます。（一部の高校ではまだ結果が届いていないため、届き次第お知らせします。）

注意して欲しいのは、現状で確定しているのはあくまでも受験資格があるということ。きちんと出願期間に手続きをして、試験を受けたり、必要な書類を送ったりしないと合格にはつながりません。自分の志望校はどんな書類がいつ必要なのか、どんな手続きをするのか、保護者の人に任せるのではなく、募集要項を見て自分自身でしっかりとチェックしておきましょう。

～ 将来の夢を描いて ～

先日、以前勤めていた中学校の卒業生と会いました。25歳になった彼女たちは、それぞれの道を歩んでいました。自分自身で決めた道をまっすぐに進む彼女たちの目はきらきらと輝いて見えました。幼稚園で保育士として働いているある人は、中学校卒業の際に自分の将来の夢を描きつつ志望校を決めたと、そう話をしていました。どこの学校に進学するか。大切なことだと思います。しかし、その学校でどう過ごし、その後どんな道を歩んでいくのか。数ヶ月後の自分の姿だけではなく、もう少し先の自分の姿も描いてみるのも大切なことかもしれませんね。